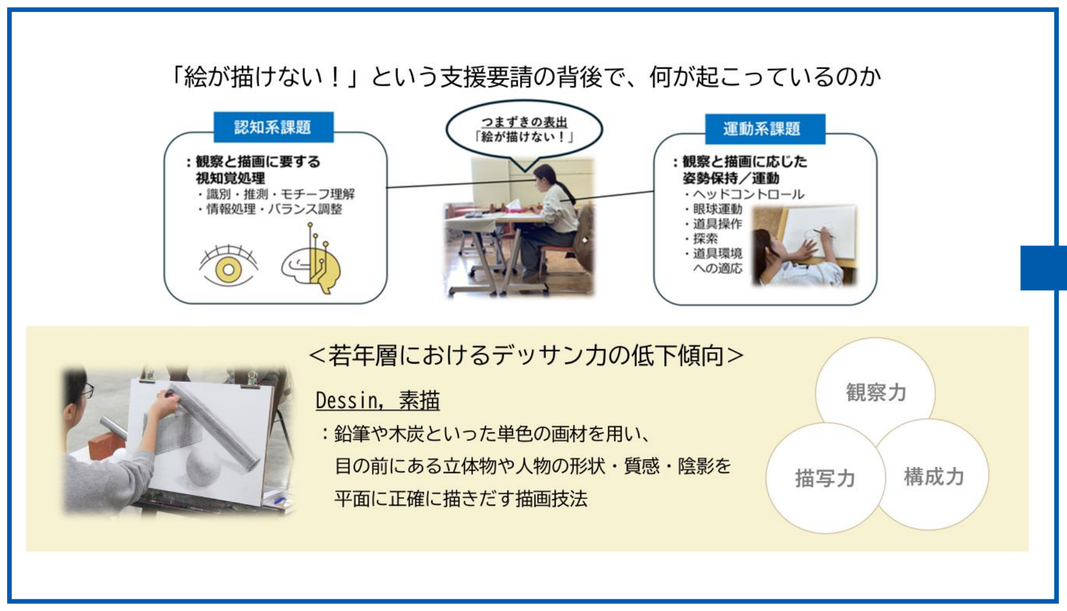
YNU研究拠点
YNU Research Center

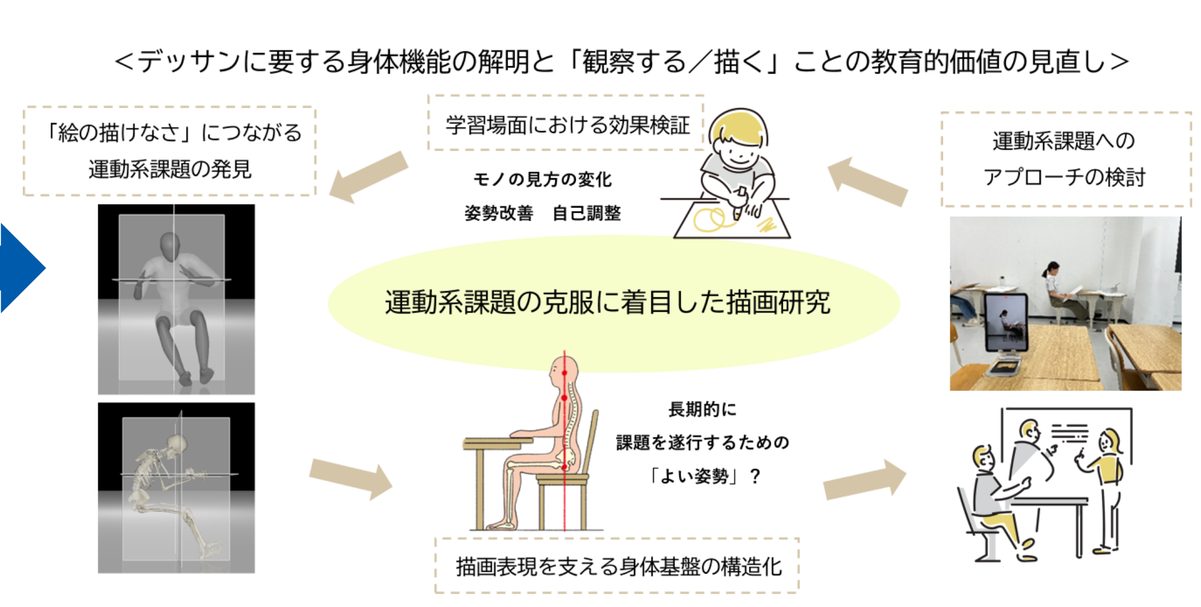
YNU 横浜国立大学 研究推進機構

美術のつまずき研究拠点

横浜国立大学　教育学部　学校教員養成課程　美術教育講座
伊東 一誉(Hanayo Ito)

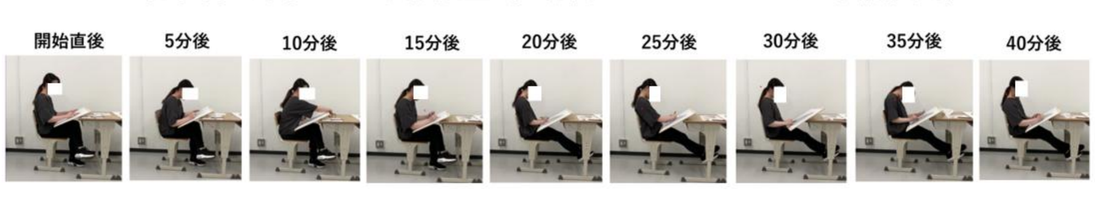
研　究　概　要





概要１　描画学習場面における姿勢とストレスに関する実態調査

初学者を対象とした実技調査（45分間のデッサンにおける姿勢変動）



中学校の美術の授業を対象とした実態調査（描画学習場面の姿勢傾向）



＜描画中・後に発生するストレス＞
身体的負荷：首・肩の痛み／腰・臀部の痛み／手・指の緊張・疲労感
心的負荷：「身体がつらくて集中が続かない」「形の歪みを発見・修正できない」「描くことを楽しめない」

概要2　デッサンの学習に要する運動課題の解明

熟達者を対象とした実技調査
（60分間のデッサンにおける姿勢変動・視線移動・作品評価）



		描画時間	「見る」	「見ながら描く」	「描く」
モチーフ観察（視線移動）	熟達者	60分	4分22秒 (7.29%)	44分56秒 (74.90%)	10分41秒 (17.81%)
	非熟達者	44分44秒	1分41秒 (3.87%)	21分15秒 (47.53%)	21分43秒 (48.60%)

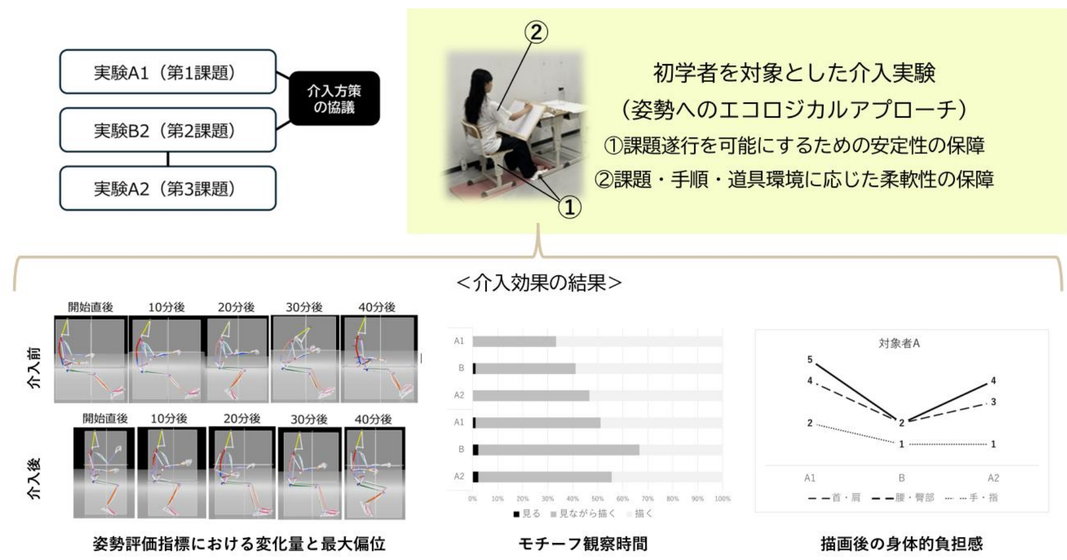
※()内は，描画時間に対する各描画行為の時間の割合。

＜デッサン熟達者の運動傾向＞
①固定視点によるモチーフ観察
②上肢の可動性と下肢の安定性



＜デッサンに要する運動課題＞
描画者の可動性と安定性が
デッサンプロセスにおいていかに両立されるか

概要3　初学者の姿勢の崩れと介入効果の検証



今　後　の　展　望

現在の課題：①初学者を対象としたデッサンスキル評価の作成　②姿勢の崩れと作品評価の対応



教育現場での活用を目指した「見る／描く」表現を促進するための運動モデルの構築
＜描画学習における２つのアプローチ＞

